

平成 22 年 7 月 21 日

東京二十三区清掃一部事務組合

水銀混入ごみによる複数清掃工場焼却炉の停止について

足立清掃工場2号焼却炉、板橋清掃工場2号焼却炉、光が丘清掃工場1号焼却炉及び2号焼却炉並びに千歳清掃工場焼却炉^{※1}が、水銀混入ごみの不適正搬入が原因で相次いで停止しました。

当該焼却炉の排ガス中水銀濃度が上昇し、自己規制値等^{※2}(0.05mg/m³N)を超えたため、操作手順に従い、焼却炉停止を余儀なくされたものです。

不適正搬入が原因で、約1月の間に4工場の焼却炉を停止せざるを得ない状況は前例がありません。

このような事例が続くと、二十三区のごみ処理に深刻な停滞を来すことになります。

当組合は、ホームページ等を通じて、区民、事業者の方々に対して適正なごみの出し方に従い排出していただくように要請しているところです。

なお、排ガス中の水銀濃度が一時的に自己規制値(0.05mg/m³N)を超えることがあっても、周辺地域に環境汚染や健康被害を生じることはありません。

記

1 復旧予定等 別表「各清掃工場の水銀混入ごみによる停止・復旧状況について」のとおり

2 不適正ごみの搬入防止

プラント設備の機能などを脅かす不適正なごみの搬入防止に向けて、当組合は各区と連携して対策を講じていきます。

※1 千歳清掃工場は、焼却炉が1炉のみのため号炉表示をしていません。

※2 排ガス中の水銀に関して法律による排出基準はありませんが、当組合の清掃工場の多くは工場操業協定に基づく自己規制値(0.05mg/m³N)の遵守を徹底しています。光が丘清掃工場は自己管理値(0.05mg/m³N)を定めて同様の水準で管理しています。

問い合わせ先

施設管理部

大塚・山田

電話 6238-0741

別表 各清掃工場の水銀混入ごみによる停止・復旧状況について

平成22年7月21日現在

	清掃工場名	焼却炉番号	停止日	調査状況又は復旧(予定)日	物的被害金額
1	足立	2号炉	6月11日(金)	9月初旬の予定	約2億8千万円(概算) 触媒・ろ布の交換、煙道清掃など
2	板橋	2号炉	7月 1日(木)	7月17日(土)復旧	約50万円(概算) 洗煙塔などの清掃
3	光が丘	1号炉及び 2号炉	7月 8日(木)	調査結果が出るのが7月26日ごろの予定	被害状況調査中
4	千歳	1号炉	7月18日(日)	調査結果が出るのが7月末の予定	被害状況調査中